

1 歴代誌

4:9 ヤベツは彼の兄弟たちの中で最も重んじられた。彼の母は、「私が痛みのうちにこの子を産んだから」と言って、彼にヤベツという名をつけていた。

痛みのうちに=(改2)悲しみのうちに。 = (へ) 痛みのうちに

傷を持って生まれた？ (改2)の訳だと、母が心に傷を負い子供にも影響を与えていたように読み取れるが、(改四)ではそんなことはなさそう。

- 1、いやされる必要
- 2、広げられること
- 3、守られる必要

4:10 ヤベツはイスラエルの神に呼び求めて言った。「私を大いに祝福し、私の地境を広げてくださいますように。御手が私とともにあってわざわいから遠ざけ、私が痛みを覚えることのないようにしてください。」神は彼の願ったことをかなえられた。

祝福する=バラク◀ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改4)

@収穫に対する謙虚さ (われわれには助けが必要でる)

5:2 ユダは彼の兄弟たちの間で勢いを増し、君たる者もそこから出たが、長子の権利はヨセフのものとなった。

(へ) 動詞がないので時勢もない。「(a leader, ruler, prince) from」といった感じ

(改2)5:2 ユダは彼の兄弟たちにまさる者となり、君たる者も彼から

出るのであるが、長子の権利はヨセフに帰したからである。・ ・

9:33 これらは**歌い手**で、レビ人の一族のかしらであり、各部屋にいて、ほかの務めを免れていた。昼となく夜となく彼らはその務めに携わったからである。

歌い手=(改2)歌うたい=(הַמְשִׁירִים)ハムショレリーム=◀ 7891. Shir (שִׁיר)87回
▶(V)歌う、歌い手(名詞としての用法)

10:4 サウルは道具持ちに言った。「おまえの剣を抜いて、私を刺し殺してくれ。さもないと、あの無割礼の者たちがやって来て、私をなぶりものにするだろう。」しかし、道具持ちは非常に恐れて、とうていその気になれなかった。それでサウルは剣を取り、その上に倒れ込んだ。

10:13 このように、サウルは【主】の信頼を裏切った不信の罪のゆえに死んだ。

彼は【主】の**ことば**を守らず、霊媒に伺いを立てることまでして、

10:14 【主】に尋ねることをしなかった。そのため、主は彼を殺し、王位をエッサイの子ダビデに回された。

(へ) 11:10 ダビデの勇士のかしらたちは次のとおりである。彼らは、ダビデとともにその王権を強固にし、全イスラエルとともに、イスラエルについての【主】の**ことば**のとおり、彼を王とした人々である。

11:11 ダビデの勇士たちの名簿は次のとおりである。補佐官のかしら、ハクモニの子ヤショブアム。彼は槍を振るって一度に三百人を刺し殺した。

11:12 彼の次は、アホアハ人ドドの子エルアザル。彼は三勇士の一人であった。

11:13 彼がダビデとともにパス・ダミムにいたとき、ペリシテ人が戦うためにそこに集まった。そこには、**大麦が豊かに実った**畑があった。兵はペリシテ人の前から逃げたが、

11:14 彼らはその畑の真ん中に踏みとどまってこれを守り、ペリシテ人を討った。【主】は大勝利をもって救われた。

大麦 = (2サム 23:11) レンズ豆

豊かに実った = 密生した(改2) = (へ) ◀ 4392. male ▶ いっぱいの Full

これを守り = これを救い(改2)

@ (2サム 23:11 彼の次はアラル人アゲの子シャンマ。ペリシテ人が隊をなして集まったとき、そこにはレンズ豆が豊かに実った一つの畑があった。兵はペリシテ人の前から逃げたが、23:12 彼はその畑の真ん中に踏みとどまってこれを守り、ペリシテ人を討った。【主】は大勝利をもたらされた。

@彼が守ろうとしたものは取るに足りないもの(大麦・レンズ豆)のようだったが、結果的には大勝利をイスラエルに与えることになった。

@自分に与えられた小さいものを守るのに忠実だった。

12:1 ダビデがまだキシユの子サウルから身を避けていたとき、ツィクラグの彼のもとに来た人たちは次のとおりである。彼らは、勇士たちの中で戦いの加勢をした人たちであり、

@彼らは、勇士たちの中で戦いの加勢をした人たち = 元困窮者

1サム 22:2 そして、困窮している者、負債のある者、不満のある者たちもみな、彼のところに集まって来たので、ダビデは彼らの長となった。約四百人の者が彼とともにいるようになった。

12:22 人々はダビデを助けるため、日に日に彼のもとに来て、ついに神の陣営のような大陣営となった。

12:29 サウルの同胞ベニヤミン族からは三千人。その大多数は、それまでサウ

ルの家を守り続けてきた。

守り続けてきた＝忠実なもの

12:32 イッサカル族からは、時を悟り、イスラエルが何をなすべきかを知っていた、かしら二百人。その同胞はみな彼らの命令に従った。

@ 「時を悟り、、何をすべきかを知っている」、＝ビジョンがある

@ 「かしら二百人」、＝リーダーだけで200人いた。

@ 「かれらの同朋はみな」、＝一致、忠実

12:33 ゼブルンからは、完全に武装して戦いの備えをして従軍していた者五万人。彼らは心を一つにして集まった。

@ 「完全に武装し」

@ 「備えをした」

@ 「心を一つにして」

(1テサ 1:6 あなたがたも、多くの苦難の中で、聖霊による喜びをもってみことばを受け入れ、私たちに、そして主に倣う者になりました。

1:7 その結果、あなたがたは、マケドニアとアカイアにいるすべての信者の模範になったのです。

12:38 これらすべての、戦いに備えて集まった戦士たちは、ダビデを全イスラエルの王にしようと、全き心でヘブロンに来た。イスラエルの残りの者たちも、ダビデを王にすることで心が一つになっていた。

13:6 ダビデと全イスラエルは、バアラ、すなわち、ユダに属するキルヤテ・

エアリムに上って行き、そこから、「ケルビムに座しておられる主。」と呼ばれていた神の箱を運び上ろうとした。

@「ケルビムに座して」 = ◀ 3427.(ישב) yashab 1082 回▶ 住む
(人が住む) : to sit, remain, dwell

= 《R V》ケルビムの間に住まわれる

13:8 ダビデと全イスラエルは、歌、豎琴、琴、タンバリン、シンバル、ラッパをもって、神の前で力の限り喜び踊った

琴 = ◀ 5035. nebel 38 回▶ 皮、皮袋(水筒)=翻訳は、皮袋、琴、壺

13:14 神の箱は、オベデ・エドムの一家とともに、彼の家にか月とどまった。

【主】は、オベデ・エドムの家と、彼に属するすべてのものを祝福された。
祝福する = バラク ◀ 1288. (ברך) barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)

15:2 そのとき、ダビデは言った。「レビ人でなければ、神の箱を担いではならない。【主】は、【主】の箱を担がせ、とこしえまでもご自分に仕えさせようと、彼らを選ばれたからである。」

15:13 最初の時には、あなたがたがいなかったため、私たちの神、【主】は私たちに怒りを発せられた。定めにしたがって、私たちが主を求めなかったからだ。」

@民数記 7:9 しかしケハテ族には何も与えなかった。彼らの聖なるものに関わる奉仕は、肩に担いで運ぶことだった

15:14 そこで、祭司たちとレビ人たちは、イスラエルの神、【主】の箱を運び上げるために身を聖別した。

15:16 ダビデはレビ人の長たちに命じて、彼らの同族の者たちを歌い手として任命し、**琴**、**豎琴**、**シンバル**などの楽器を手に、喜びの声をあげるようにさせた。

琴＝ ◀ 5035. nebel 38 回 ▶ 皮、皮袋(水筒)=翻訳は、皮袋、琴、壺

15:20 ゼカリヤ、アジエル、シェミラモテ、エヒエル、ウンニ、エリアブ、マアセヤ、ベナヤは、『アラモテの調べ』にのせて、**琴**を奏でた。

琴＝ ◀ 5035. nebel 38 回 ▶ 皮、皮袋(水筒)=翻訳は、皮袋、琴、壺

15:28 全イスラエルは歓声をあげ、角笛、ラッパ、シンバルを鳴らし、**琴**と**豎琴**を響かせて、【主】の契約の箱を運び上げた。

琴＝ ◀ 5035. nebel 38 回 ▶ 皮、皮袋(水筒)=翻訳は、皮袋、琴、壺

15 : 27 - 28

16:1 人々は神の箱を運び込んで、ダビデがそのために張った天幕の真ん中にそれを置き、神の前に全焼のささげ物と交わりのいけにえを献げた。

16:2 ダビデは全焼のささげ物と交わりのいけにえを献げ終えて、【主】の御名によって民を**祝福した**。

祝福する＝バラク◀ 1288. (בָּרַךְ)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

交わりのいけにえ=(改 2) 和解のいけにえ

16:4 それから、レビ人の中のある者たちを任命して【主】の箱の前で仕えさせ、イスラエルの神、【主】に向かってその御名を呼び、告白し、賛美するようにした。

(改2) 16:4 それから、レビ人の中のある者たちを、【主】の箱の前で仕えさせ、イスラエルの神、【主】を覚えて感謝し、ほめたたえるようにした。

呼び= ◀ 2142. zakar (זָכַר)232 回▶ (NAS): even to celebrate (KJV): and to record (INT): celebrate (改4)呼ぶ

告白し=ホドゥット=ヤダ◀ 3034. yadah (יָדָה) 114 回▶ 感謝する 67 回、賛美する 19 回、告白 16 回 ★★

(NAS)(KJV)では thank(感謝)

現代語 confession =(google)ホダア(הוֹדָא)

賛美する=ハラル◀ 1984. halal (הָלַל)165 回▶(源)輝く (訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

16:5 かしらはアサフ、彼に次ぐ者は、ゼカリヤ、エイエル、シェミラモテ、エヒエル、マティテヤ、エリアブ、ベナヤ、オベデ・エドム、エイエル。彼らは琴や豎琴などの楽器を携え、アサフはシンバルを響かせた。

琴= ◀ 5035. nebel 38 回▶皮、皮袋(水筒)=翻訳は、皮袋、琴、壺

@ 2 4 7

16:7 その日、その時、初めてダビデはアサフとその兄弟たちを任命して、このように【主】に感謝をささげさせた。

感謝する=ホドゥ=ヤダ◀ 3034. yadah (יָדָה) 114 回▶ 感謝する 67 回、賛美

する 19 回、告白 16 回

(NAS)(KJV)give thanks

16:8 【主】に感謝し、御名を呼び求めよ。そのみわざを諸国の民の間に知らせよ。

感謝し=ハウドゥ ◀ 3034. yadah(יָדָה) 114 回▶感謝する 67 回、賛美する 19 回、告白 16 回 (NAS)(KJV)give thanks

呼び求める ◀ 7121. qara(קָרָא)734 回▶呼ぶ、名づける、宣言する

知らせよ=ハウディウ ◀ 3045. yada(יָדָע)942 回▶知る、セックスをする

16:9 主に歌え。主にほめ歌を歌え。そのすべての奇しいみわざを語れ。

歌え=◀ 7891. shir ▶

ほめ歌を歌う=◀ 2167. zamar(זָמַר)46 回▶賛美を歌う

語れ=◀ 7878. siach 7 回▶熟考する、思いめぐらす、語る

16:10 主の聖なる御名を誇りとせよ。【主】を慕い求める者たちの心よ、喜べ。

誇りとせよ=ハラル◀ 1984. halal(הָלַל)165 回▶(源)輝く (訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

(NAS): Glory in His holy name; (KJV): Glory ye in his holy name:

16:22 「わたしの油注がれた者たちに触れるな。わたしの預言者たちに危害を加えるな。」

わたしの油注がれた者たちに触れるな

16:25 【主】は大いなる方、大いに賛美される方。すべての神々にまさって恐れられる方だ。

賛美=ハラル◀ 1984. halal(הָלַל)165 回▶(源)輝く (訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

16:29 御名の栄光を【主】に帰せよ。ささげ物を携えて、御前に来たれ。聖なる装いをして、【主】にひれ伏せ。

ひれ伏せ=シャハー◀ 7812. shachah (שַׁחַח) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) (KJV) (INT)* worship (改 4) ひれ伏せ

16:34 【主】に感謝せよ。主はまことにいつくしみ深い。その恵みはとこしえまで。

感謝する=ホウドウ=ヤダ◀ 3034. yadah(יָדָה) 114 回▶ 感謝する 67 回、賛美する 19 回、告白 16 回

16:35 言え。「私たちの救いの神よ、私たちをお救いください。国々から私たちを集め、救い出してください。あなたの聖なる御名に感謝し、あなたの誉れを勝ち誇るために。」

感謝する=ホドウト=ヤダ◀ 3034. yadah(יָדָה) 114 回▶ 感謝する 67 回、賛美する 19 回、告白 16 回

勝ち誇る=シャバク。◀ 7623. shabach (שָׁבַח)11 回▶ もともとの意味は「静まる」(訳出では「静める、誇る、)

誉れ=◀ 8416. tehillah (תְּהִלָּה)57 回▶ 賛美、賛美の歌

誉れを勝ち誇る = ◀ 7623. shabach (שָׁבַח)11 回▶ を◀ 8416. tehillah (תְּהִלָּה)57 回▶する。

16:36 ほむべきかな、イスラエルの神、【主】。とこしえから、とこしえまで。それから、民はみな「アーメン」と言い、【主】をほめたたえた。

ほむべきかな=バラク◀ 1288. (בָּרַךְ)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

(NAS)(KJV)(INT)Blessed (改 4)ほめる

ほめたたえた＝ハラル ◀ 1984. halal (להל) 165 回 ▶ (源)輝く (訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

16:37 彼は、その場所、すなわち、主の契約の箱の前に、アサフとその兄弟たちをとどめておき、毎日の日課として、常に箱の前で仕えさせた。

16:38 オベデ・エドムと彼らの兄弟たちは六十八人いたが、エドトンの子オベデ・エドムとホサを門衛とした。

16:39 祭司ツアドクとその兄弟の祭司たちは、ギブオンの高き所にある【主】の幕屋の前にとどめおき

16:40 すべて【主】がイスラエルに命じられた律法に書かれているとおりに、朝夕絶えず、全焼のささげ物の祭壇の上で【主】に全焼のささげ物を献げさせた。

16:41 また、彼らとともにヘマン、エドトン、さらにほかの選ばれた者たちが、「まことに主の恵みは、とこしえまで」と、【主】をほめたたえるために指名された。

ほめたたえ＝ホドウト ◀ 3034. yadah (הודו) 114 回 ▶ 感謝する 67 回、賛美する 19 回、告白 16 回

ただし、(NAS) (KJV)では「感謝をささげる」 give thanks
つまり、感謝と訳すかほめたたえると訳するかは紙一重である。

16:42 ヘマンとエドトンの手には、ラッパとシンバル、また神の歌に用いる楽器があつて、音楽を奏でた。エドトンの子らは門にいた。

16:43 民はみな、それぞれ自分の家に帰った。ダビデも自分の家族を祝福するために戻って行った。

祝福する=バラク・ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

第 1 歴代誌 13:11 ダビデの心は激した。【主】がウザに対して怒りを発せられたからである。その場所は今日までペレッツ・ウザと呼ばれている。

13:12 その日、ダビデは神を恐れて言った。「どうして、神の箱を私のところに運び込むことができようか。」

13:13 そこでダビデは、箱を自分のところ、ダビデの町には移さず、ガテ人オベデ・エドムの家に戻した。

13:14 神の箱は、オベデ・エドムの一家とともに、彼の家に三か月とどまった。【主】は、オベデ・エドムの家と、彼に属するすべてのものを祝福された。

17:1 ダビデが自分の家に住んでいたときのことである。ダビデは預言者ナタンに言った。「見なさい。この私が杉材の家に住んでいるのに、【主】の契約の箱は天幕の下にある。」

17:2 ナタンはダビデに言った。「あなたの心にあることをみな行いなさい。神があなたとともにおられるのですから。」

。このセリフを言ったときにはすでにダビデは準備をしていた、確信があったからである。しかし実際には建てる事は出来なかった。だからといって彼は御心を聞き間違えたわけではない。主は時を定めている。

17:11 あなたの日数が満ち、あなたが先祖のもとに行くとき、わたしはあなたの息子の中から、あなたの後に世継ぎの子を起し、彼の王国を確立させる。

17:12 彼はわたしのために一つの家を建て、わたしは彼の王座をどこしえまでも堅く立てる。

17:16 ダビデ王は【主】の前に出て、座して言った。「神、【主】よ、私は何者でしょうか。私の家はいったい何なののでしょうか。あなたが私をここまで導いてくださったとは。

29:14 このように自ら進んで献げる力を持っているとしても、私は何者なのでしょう、私の民は何者なのでしょう。すべてはあなたから出たのであり、私たちは御手から出たものをあなたに献げたにすぎません。

(詩 8:4 人とは何ものなのでしょう。あなたが心に留められるとは。人の子とはいったい何ものなのでしょう。あなたが顧みてくださるとは。8:5 あなたは人を御使いよりわずかに欠けがあるものとしこれに栄光と誉れの冠をかぶらせてくださいました。

(詩 144:3 【主】よ人とは何ものなのでしょう。あなたがこれを知っておられるとは。人の子とはいったい何ものなのでしょう。あなたがこれを顧みられるとは。

1 歴代 17:25 わが神よ。あなたはこのしもべの耳を開き、しもべのために一つの家を建てると告げられました。それゆえ、このしもべは御前で祈る勇気を得たのです。

祈る = ◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V) 干渉する、とりなしする、祈る

17:27 今、あなたは、あなたのしもべの家を祝福することを良しとされ、御前にとこしえに続くようにしてくださいました。【主】よ。あなたが祝福してくださいました。あなたのしもべの家はとこしえに祝福されています。」

祝福する = バラク ◀ 1288. (בָּרַךְ) barak 330 回 ▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

18:10 彼は、息子ハドラムをダビデ王のもとに遣わし、安否を尋ね、ダビデがハダドエゼルと戦ってこれを打ち破ったことについて、**祝福のことばを述べた**。ハダドエゼルがトウにしばしば戦いを挑んでいたからである。トウは、金、銀、青銅の、あらゆる器を贈り物とした。

祝福のことばを述べた＝バラク◀ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回 (英)の内 74 回ほめる(改 4)

20:5 再びペリシテ人との戦いがあったとき、ヤイルの子エルハナンは、ガテ人ゴリヤテの兄弟ラフミを打ち殺した。ラフミの槍の柄は、機織りの巻き棒のようであった。

2サム 21:19 ゴブでペリシテ人との戦いが再びあったとき、ベツレヘム人ヤイルの子エルハナンは、ガテ人ゴリヤテを打ち殺した。ゴリヤテの槍の柄は、機織りの巻き棒のようであった。

@ ゴリアテの兄弟ラフミ＝ゴリアテと同じくらい強い。しかし、勇士はなんなく倒した

ダビデの信仰と油注ぎが部下に分与されていた

21:1 さて、サタンがイスラエルに向かって立ち上がり、イスラエルの人口を数えるように、ダビデをそそのかした。

@サタンがサタンという訳で登場するのはここが初めて。これ以前のサタンはすべて「敵対者」などと訳されている。

@2 回目はヨブ記

ヨブ 1:6 ある日、神の子らがやって来て、【主】の前に立った。

サタンもやって来て、彼らの中にいた。

21:8 ダビデは神に言った。「私は、このようなことをして、大きな罪を犯しました。どうか、このしもべの咎を取り去ってください。私は本当に愚かなことをしました。」

21:16 ダビデが目を見ると、【主】の使いが地と天の間に立ち、抜き身の剣を手を持って、エルサレムの上に伸ばしているのを見た。ダビデと長老たちは粗布で身をおおい、ひれ伏した。

21:18 そこで、【主】の使いは、ダビデにこう伝えるようガドに言った。「ダビデは上って行って、エブス人オルナンの打ち場に、【主】の祭壇を築かなければならない。」

2 歴代誌 3:1 ソロモンは、エルサレムのモリヤの山で【主】の宮の建築を始めた。そこは、主が父ダビデにご自分を現され、ダビデが準備していた場所で、エブス人オルナンの打ち場があったところである。

21:21 ダビデがオルナンのもとに行くと、オルナンはそれを見てダビデに気づき、打ち場から出て来て、地にひれ伏して礼をした。

ひれ伏して礼をした＝シャハー◀ 7812. shachah (נחש) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) prostrated himself (KJV) bowed himself (INT) prostrated(改4)ひれ伏して礼をした

@エブス人はダビデが征服したエルサレムの地の先住民族。

21:24 ダビデ王はオルナンに言った。「いや、私はどうしても十分な金額で買

いたい。あなたのものを【主】に献げるわけにはいかない。費用もかけずに全焼のささげ物を献げたくないのだ。」

21:28 そのとき、ダビデは【主】がエブス人オルナンの打ち場で彼に答えられたのを見て、そこでいけにえを献げた。

21:29 モーセが荒野で造った【主】の幕屋と全焼のささげ物の祭壇は、そのときギブオンの高き所にあった。

21:30 しかしダビデは、神を求めてその前に出て行くことができなかった。【主】の使いの剣におびえたからである。

22:5 ダビデは言った。「わが子ソロモンは、まだ若く力もない。【主】のために建てる宮は、壮大なもので、全地で名声と榮譽を高めるものでなければならない。それゆえ、私が用意をしておく。」こうして、ダビデは彼が死ぬ前に多くの用意をしておいた。

キリストが代価を支払い、全てをととのえ聖霊が教会を建てる。

「多くの用意をしておいた」《英NKJ》充分な

22:14 見なさい。私は困難な中で【主】の宮のために、金十万タラント、銀百万タラントを用意した。また、青銅と鉄はあまりに多くて量りきれない。それに、木材と石材も用意した。あなたは、これらにももっと加えなさい。

22:15 あなたののもとには、石を切り出す者、石や木に細工する者、各種の仕事に熟練した者など、多くの仕事をする者がいて

詩篇 138:8 【主】は私のためにすべてを成し遂げてくださいます。

【主】よあなたの恵みはとこしえにあります。あなたの御手のわざをやめないでください。

23:5 四千人は門衛となり、四千人は私が賛美するために作った楽器を手にして、【主】を賛美する者となりなさい。」

賛美=ハラル◀ 1984. halal (הלל)165回▶(源)輝く (訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

23:13 アムラムの子は、アロンとモーセ。アロンは、最も聖なるものを聖別するのに選り分けられた。それは、彼とその子たちが、とこしえに【主】の前に香をたき、主に仕え、とこしえに主の御名によって祝福するためである。

祝福する=バラク◀ 1288. (ברך)barak 330回▶ 祝福する 316回(英)の内 74回ほめる(改4)。

23:30 朝ごとに、立って【主】をほめたたえ、賛美し、夕べにも同様にすること、

ほめたたえ=ホドウト◀ 3034. yadah(יָדָה) 114回▶感謝する 67回、賛美する 19回、告白 16回

、(NAS)(KJV): thanks

賛美し=ハラル◀ 1984. halal (הלל)165回▶(源)輝く (訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

23:5 四千人は門衛となり、四千人は私が賛美するために作った楽器を手にして、【主】を賛美する者となりなさい。」

I 歴代 24:10 第七はハ・コツに、第八はアビヤに、

@これを根拠として降誕日を割り出した。

25:1 また、ダビデと軍の長たちは、アサフとヘマンとエドトンの子らを奉仕のために取り分け、豎琴と琴とシンバルに合わせて預言する者とした。仕事に就いた者の数は、その奉仕にしたがって次のとおりである。

預言する者とした＝預言の働きは賛美にかかわる

琴＝ ◀ 5035. nebel 38 回 ▶皮、皮袋(水筒)=翻訳は、皮袋、琴、
壺

25 : 2 王の指揮にしたがって、アサフの指揮下」、
賛美の奉仕は牧師の權威の下で、賛美リーダーが導く

@ダビデが賛美の総責任者であった。

@彼は熱心のあまり、既存の楽器に満足できなかった (アモス 6:5)ダビデの
ように新しい楽器を考え出す。

I 歴代 25:3 エドトンについて。エドトンの子は、ゲダルヤ、ツェリ、エシャ
ヤ、シムイ、ハシャブヤ、マティテヤの六人。豎琴に合わせて【主】をほめ
たたえ、賛美しながら預言する彼らの父エドトンの指揮下にあった。

ほめたたえ＝ホドウト ▶ 3034. yadah(יה) 114 回 ▶感謝する 67 回、賛美する
19 回、告白 16 回、

(NAS)(KJV): thanks

賛美し＝ハラル ▶ 1984. halal(הלל)165 回 ▶(源)輝く (訳出では「賛美、誇る、
気が狂う」)

25:6 これらはみな、その父の指揮下にあつて、シンバル、琴、豎琴を手に、
【主】の宮で歌を歌い、王の指揮下に神の宮の奉仕に当たる者たちである。ア
サフ、エドトン、ヘマン、

琴＝ ◀ 5035. nebel 38 回 ▶皮、皮袋(水筒)=翻訳は、皮袋、琴、
壺

25 : 6 これらはみな、その父の指揮下にあつて

I 歴代 26:5 六男アンミエル、七男イッサカル、八男ペウレタイ。神が彼を祝福されたからである。

祝福する＝バラク◀ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)

28:2 ダビデ王は立ち上がって、こう言った。「私の兄弟たち、私の民よ。私の言うことを聞きなさい。私は【主】の契約の箱のため、私たちの神の足台のために安息の家を建てる志を持ち、建築の用意をしてきた。

28:9 わが子ソロモンよ。あなたの父の神を知り、全き心と喜びの気持ちをもって神に仕えなさい。【主】はすべての心を探り、すべての思いの動機を読み取られるからである。もし、あなたが神を求めるなら、神はあなたにご自分を現される。もし、あなたが神を離れるなら、神はあなたをとこしえまでも退けられる。

28:12 設計図は、すべて御霊によって彼に示された。すなわち、【主】の宮の庭のこと、周囲のすべての脇部屋のこと、神の宮の宝物倉のこと、聖なるささげ物の宝物倉のこと、

28:20 それから、ダビデはその子ソロモンに言った。「強く、雄々しく、事を成し遂げなさい。恐れてはならない。おののいてはならない。神である【主】、私の神が、あなたとともにいてくださるのだから。主は、あなたを見放さず、あなたを見捨てず、【主】の宮の奉仕に関わるすべての仕事を完成させてくださる。

28:2 ダビデ王は立ち上がって、こう言った。「私の兄弟たち、私の民よ。私の

言うことを聞きなさい。私は【主】の契約の箱のため、私たちの神の足台のために安息の家を建てる志を持ち、建築の用意をしてきた。

28:9 わが子ソロモンよ。あなたの父の神を知り、全き心と喜びの気持ちをもって神に仕えなさい。【主】はすべての心を探り、すべての思いの動機を読み取られるからである。もし、あなたが神を求めるなら、神はあなたにご自分を現される。もし、あなたが神を離れるなら、神はあなたをとこしえまでも退けられる。

28:12 設計図は、すべて御霊によって彼に示された。すなわち、【主】の宮の庭のこと、周囲のすべての脇部屋のこと、神の宮の宝物倉のこと、聖なるささげ物の宝物倉のこと、

設計図は、すべて御霊によって彼に示された＝ 奉仕の仕事は御霊によって具体的に示されていた。

28:20 それから、ダビデはその子ソロモンに言った。「強く、雄々しく、事を成し遂げなさい。恐れてはならない。おののいてはならない。神である【主】、私の神が、あなたとともにいてくださるのだから。主は、あなたを見放さず、あなたを見捨てず、【主】の宮の奉仕に関わるすべての仕事を完成させてくださる。

【主】の宮の奉仕に関わるすべての仕事を完成させてくださる＝ 完成するまで主は見捨てない

。

29:1 ダビデ王は全会衆に言った。「わが子ソロモンは、神が選ばれた、ただ一人の者であるが、まだ若く力もない。しかしこの工事は大きい。なぜなら、この宮は人のためではなく、神である【主】のためのものだからである。

@宮=◀ 1002. בִּירָה (birah) 16 回▶宮、城、宮殿=(改 2) 城、(RV)

家

@この単語が主の宮として訳されているのは（1 歴 29:1）（1 歴 29:19）（ネへ 2:8）（ネへ 7:2）のみ。

29:10 ダビデは全会衆の前で【主】をほめたたえた。ダビデは言った。「私たちの父イスラエルの神、【主】よ。あなたがとこしえからとこしえまで、ほめたたえられますように。

ほめたたえられ=バラク◀ 1288. (בָּרַךְ)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

(NAS)(KJV)(INT)Blessed (改 4)ほめたたえる

29:11 【主】よ、偉大さ、力、輝き、栄光、威厳は、あなたのものです。天にあるものも地にあるものもすべて。【主】よ、王国もあなたのものです。あなたは、すべてのものの上に、かしらとしてあがめられるべき方です。

29:12 富と誉れは御前から出ます。あなたはすべてのものを支配しておられます。あなたの御手には勢いと力があり、あなたの御手によって、すべてのものが偉大にされ、力づけられるのです。

2 サムエル 5:12 ダビデは、【主】が自分をイスラエルの王として堅く立て、主の民イスラエルのために、自分の王国を高めてくださったことを知った。

29:13 私たちの神よ。今、私たちはあなたに感謝し、あなたの栄えに満ちた御名をほめたたえます。

感謝し=モウディム◀ 3034. yadah(יָדָה) 114 回▶感謝する 67 回、賛美する 19

回、告白 16 回、(NAS)(KJV): thanks

ほめたたえ=ハラル◀ 1984. halal (הלל)165 回▶(源)輝く (訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

29:14 このように自ら進んで献げる力を持っているとしても、私は何者なのでしょう、私の民は何者なのでしょう。すべてはあなたから出たのであり、私たちは御手から出たものをあなたに献げたにすぎません。

第 1 歴代誌 17:16 ダビデ王は【主】の前に出て、座して言った。「神、【主】よ、私は何者でしょうか。私の家はいったい何なのでしょう。あなたが私をここまで導いてくださったとは。

(詩 8:4 人とは何ものなのでしょう。あなたが心に留められるとは。人の子とはいったい何ものなのでしょう。あなたが顧みてくださるとは。

8:5 あなたは人を御使いよりわずかに欠けがあるものとしこれに栄光と誉れの冠をかぶらせてくださいました。

(詩 144:3 【主】よ人とは何ものなのでしょう。あなたがこれを知っておられるとは。人の子とはいったい何ものなのでしょう。あなたがこれを顧みられるとは。

29:19 わが子ソロモンに全き心を与え、あなたの命令とさとしと掟を守らせて、すべてを行わせ、私が準備してきた宮を建てさせてください。」

@宮=◀ 1002. בֵּיִרָה (birah) 16 回▶宮、城、宮殿=(改 2) 城、(RV)

家

@この単語が主の宮として訳されているのは (1 歴 29:1) (1 歴 29:19) (ネへ 2:8) (ネへ 7:2) のみ。

29 : 20 礼拝した」《DH2》《N I V》ひざまづく

29:20 そして、ダビデは全会衆に「あなたがたの神、【主】をほめたたえよ」と言った。すると全会衆は、父祖の神、【主】をほめたたえ、【主】と王の前に身をかがめてひれ伏した。

ほめたたえ=バラク◀ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

(NAS)(KJV)(INT)Bless (改 4)ほめる

身をかがめて=カダド◀ 6915. qadad (קדד)15 回▶ おじぎする、ひざまづく
(NAS) bowed low (KJV) bowed down their heads (INT) bowed (改 4)ひれ伏した

ひれ伏した=シャハー◀ 7812. shachah (שחח) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) did homage (KJV) worshiped (INT) did(to the Lord) (改 4)ひれ伏した